

修了生インタビュー

和智 章宏さん（2019年修了）

鎌倉市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター



Q 社会福祉士の資格を取得するまでは、どのようなお仕事をされてきましたか。

A 大学卒業後、ICTに関連する企業に入社し、通信システムやシステム開発の営業の仕事に従事していました。

Q 社会福祉士を目指した理由を教えてください。

A 大学で、社会学や心理学、哲学や人間関係学などを学び、社会人になった後も人間関係に関わる勉強を続けておりましたが、そのことをリアルに活かせる場を求めていました。55歳の時にそれを実現できるのは福祉の現場であると思い、社会福祉士を目指すことを決意しました。もちろん会社を退職し、福祉現場に飛び込むことは新しいチャレンジであり、葛藤もありましたが、今振り返ると、あのとき決意したことは、今の私の自己実現につながり、自分の人生の中で最良の選択のひとつだと思っています。

Q いくつかある社会福祉士養成施設の中で、YMCA健康福祉専門学校社会福祉科を選んだ理由を教えてください。

A 前年度の国家試験の合格率がとても良かったこと、また、スクーリング会場を戸塚と本厚木で選択することができることなどが決め手でした。また、大学受験の際、以前に横浜YMCAが運営していた予備校で学んでいたという縁もありました。

Q 学習を進める中で、YMCA健康福祉専門学校でよかったと思われたことはありましたか？

A クラスメイトとのつながりができたことです。特に実習中は、実習生同士で情報交換したり、励ましあったりすることができたので、厳しい実習を乗り越えることができました。また、1年生の時にクラスメイトが自主的に集まり国家試験についての勉強会を開いて情報交換をしたこともありました。コロナ前であったので飲み会を開くこともでき、クラスメイト同士のつながりを深めていくことができました。その時の仲間とは現在も交流が続いています。

Q 現在は、鎌倉市社会福祉協議会に入職され、生活支援コーディネーターとして幅広い業務に従事されています。その中で、玉縄地区の地域住民が主体となった地域福祉活動の支援について、和智さんがどのように関わっているか教えてください。

A 一言でいうと、生活支援コーディネーターの役割は、住民の方々が主体となった地域福祉活動（主に

高齢者)を支援することです。地域で活動される住民の方々の話に耳を傾け、その思いを受け止め理解することに努めています。また、住民の方々が、豊かな地域づくりの担い手となるよう、住民の方々だけではなく行政や関係機関・団体の関係者に伝えるべきことは伝えるようにしています。

地域福祉活動では地域の方々や関係者と本当の(ただ「良い」だけではない)人間関係をいかに築くかということが重要になります。そのためには通信課程で学んだことはもちろん、大学時代から学んできた人間関係学などの学問や会社員時代の経験(PCや英語)などを総動員して活用しています。



↑住民の方とのアセスメント活動

Q その関わりや他の業務において、社会福祉士としての専門性が活かされているところを教えてください。

A 地域住民や地域社会のさまざまな課題は、そのおかれている環境や相互作用などの影響を受けているという視点(生活モデル、エコロジカル・アプローチ)は、地域福祉活動を進めていく上でとても重要であると考えています。

また、住民の方々との信頼関係を築くための専門的なスキル(例えば傾聴、共感など)、自分の心の動きを客観的に意識・理解する自己覚知などは、日頃の業務の中で必要性を感じます。

Q YMCA健康福祉専門学校で学んだことで、今に活着ているところはありますか。

A 横浜YMCAの予備校やYMCA健康福祉専門学校は、本当に人を大切にする学校だったと思います。それは、YMCAの「ともに生きる」という理念に基づいていたのだと思います。この「ともに生きる」という理念は、今の仕事に活着ています。

Q これから社会福祉士の資格を取得しようとしている人、または、チャレンジしたいが迷っている人にアドバイスをお願いします。

A 資格取得を目指す背景は人によって異なると思います。仕事を継続しながら学ぶこと、あるいは、仕事を退職して学ぶことに躊躇されている方もいらっしゃると思います。しかしながら、社会福祉士の資格取得のために学びたいとお考えになったことは、それだけですでに人生の大きな一歩を踏み出されたこととなります。人生を大きく飛躍させるチャンスです。さらに一歩踏み出し、ぜひチャレンジしていただきたいと思います。

この通信課程は、単に資格を取ることだけが目標ではないと思います。社会福祉士の専門性、特に人間関係の在り方について、深く学んでほしいと思います。

また、社会福祉士の資格取得は通過点でしかありません。ソーシャルワーク専門職のグローバル定義に「実践に基づいた専門職であり学問である」と書かれているように、取得後も学びの継続が必要です。社会福祉士として一緒に学んでいきましょう。